

令和3年12月17日

【文部科学省】

【概要書】

国立研究開発法人科学技術振興機構
令和2年度特定公募型研究開発業務
（創発的研究）に関する報告書及び
同報告書に付する文部科学大臣の意見

標記の報告書を衆議院議長に提出いたしました。

連絡先は省略。

令和2年度「特定公募型研究開発業務（創発的研究）」に関する 国会報告の概要

（基金の執行状況及び管理状況）

- 特定の課題や短期目標を設定せず、多様性と融合によって破壊的なイノベーションに繋がるシーズ創出を目指した創発的研究を実施するため、令和元年度に500億円の基金を造成し創設した「創発的研究支援事業」について、令和2年度当初予算及び第3次補正予算により134億円を追加造成。
- 更に、我が国の優秀な志ある博士後期課程学生への経済的支援を強化し、また、博士人材が幅広く活躍するための多様なキャリアパスの整備を進める「次世代研究者挑戦的研究プログラム」の創設に向け、令和2年度第3次補正予算により174億円を追加造成。
- 令和2年度は、創発的研究支援事業における運営体制の整備、運営委員会の設置、プログラム・オフィサー等の選任並びに第1回目の研究提案募集及び審査の実施等を行うため283百万円を支出。
- 基金の残額804.9億円（令和2年度末現在）は令和3年度以降の研究費等に充当予定。

（文部科学大臣の意見書の概要）

- 透明性・公正性に十分留意したものであり、適正であったと認められる。
- 「創発的研究支援事業」については、引き続き挑戦的な研究を採択するとともに、事業の定常化も見据えた充実を図りつつ、事業を着実に推進することが必要である。
- 「次世代研究者挑戦的研究プログラム」については、我が国の優秀な志ある博士後期課程学生への支援を早期に実施するために、引き続き事業の詳細な制度設計及び運営体制を整えることが必要である。